

Talk in PPW

発展する華南の自動車製造を支える優良企業 『華思特(広州)汽车配件有限公司』

1台の自動車には2万個以上の部品が必要だという。快適な乗り心地、環境への配慮、そして安全のためにはその一つの部品も欠かすことはできない。2009年11月24～26日に広州モーターショーのパーツエリアにて行われたJAPPE(日系自動車部品調達販売展示会)に出展した、広州・花都有るTier2自動車部品メーカー『華思特(広州)汽车配件有限公司』総経理 菅谷 雄二さんと親会社川崎市の『第一金属工業株式会社』代表取締役でもある董事長菅谷 義弘さんにこれからの展望や、華南に進出を考える企業へのアドバイスについて伺った。

PPW:日本から華南に進出する生産企業には、今後に向けてどのような展望があると思いますか？

菅谷(義):概ね中国経済は拡大傾向にあると思います。しばらくは安定した成長が見込まれるのではないのでしょうか。特に自動車業界はまさに今、中国でのモータリゼーションが始まったばかりといわれています。新規購入、代替需要と年を追うごとに拡大していきましょう。現在、華思特でも増産増産と対応に追われております。



菅谷(雄):しかし、Q、C、D(Quality:品質、Cost:コスト、Delivery:納期)に対する要求は年を追うごとに高くなってきており、非常に厳しい生き残りが始まっています。それと中国系のレベルも相当上がってきており、日系だからと安閑としていられる時代ではなく、一つ見誤れば撤退を余儀なくされる状況です。進出当時は競争もそれほどではありませんでしたが、今は、ローカルも、2次サプライヤーも多くなり、相見積りを取られ、価格も下がってきていますので、これから進出してくる企業はリスクが大きくなっていくでしょう。

菅谷(義):それからタイミングを図ることも大切ですね。私たちは進出したその時を逃したら出られなかった。丁度オリンピックの需要に向けて量産に入ることができました。自分たちはこれほどチャンスに恵まれましたが、それでも量産までは1年2ヶ月、そのあと、新たなお客様と取引を開始するのに1年以上かかるんです。ですから、進出を決めるには、2年後、3年後の需要を見極めないと厳しいでしょう。ブームが一段落したとき、需要と供給にどう影響がでるのか、今はブームのどこに位置するのか調査が必要です。自分たちもそうでしたが、予想したより経費はかかるものです。コストはだんだん上がってくる、労働争議や、独特な商習慣に苦労することもあります。ですから、これから出てお客様を捕まえようというのは実際時間もかかり難しいでしょう。最低限の基礎は作って、リスクの低減をはかることも大事だと思います。

PPW:2006年に量産体制に入り、2008年には当初の6倍まで売上げを伸ばしている秘訣はなんでしょうか？

菅谷(雄):本当にチャンスに恵まれましたし、人にも恵まれました。これには感謝しても感謝しきれないほどです。例えば材料屋さんからお客様を紹介してもらったり、うちが見積りしても注文を取れなかった会社が、別の会社にうちを紹介してくれたりということもあります。また、社員の離職率が低く工員の技術を上げていくことができていますので、プレスだけではなく、今では簡単な順送型であれば内製化できたり、組み立て、溶接と、製品の問口を広げることができています。

菅谷(義):日本は手で作るものはすごいんです。開発力もあります。しかし、今はなんでも機械化されていますから、だんだん日系とそうでない

ところの差がなくなってきているんです。ただ単に値段だけで言われるとローカルについていけないが、納期をきちんと守り、中間の在庫を出さないことができるというのが私たちがアピールするところなんです。それには機械のメンテナンスが関わります。機械が止まってしまうと納期を守れません。そしてもちろん、お客様に期待されている品質レベルのものを安定供給していくようにして、選んでもらえるようにしています。

PPW:大変興味深いお話をありがとうございました。お二人とも、大変謙虚な姿勢で丁寧にインタビューに答えてくださったのがとても印象的でした。これからも華南において活躍されることをお祈りしております。



菅谷 義弘さん(右)と菅谷 雄二さん(左)



広州



華思特(広州)汽车配件有限公司
FIRST(GUANGZHOU)AUTOMOTIVE PARTS CO.,LTD



技術力、安心、信頼、高品質。
製品を通じてお客様の満足と
社会に貢献することを目指します。

お客様の求めるデザインを
お客様の求める品質で

主要製品：
自動車部品
建築金物
コインロッカー関連

主要設備：
300～35トンプレス ロボット溶接
スポット溶接機 タッピングマシン
ボール盤 その他

広州市花都区汽車城東風大道西C
TEL:(86)20-8673-3311 FAX:(86)20-8673-3310
Email: yuji_sugaya@firstgz.com